



高梁市 地域おこし協力隊だよ

2022年
11月号

隊員の自己紹介と活動紹介ー1

現在、高梁市では4名の地域おこし協力隊員が活動しています。
隊員それぞれの活動についてご紹介します。



氏名：西垣陽平
着任：2020年10月
出身：京都府京都市
前職：物流会社営業部



活動テーマ・ミッション

「ITを活用したまちづくり、コミュニティ活動の支援」をミッションとして、デジタル難民の支援・減少と地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。

子育てによりよい環境を求めて有漢町に移住しました。地域の皆さんが可愛がって見守ってくださる中で我が子も元気に育っています。私の主な活動として地域住民を対象にスマホやITの個別相談を2年間続けてきました。その中で、地域活性にとって何より重要なのは、世代を超えた住民同士の交流の場であると強く感じるようになりました。現在空き物件（旧有漢診療所）を改修し地域住民が集えるコミュニティスペースにするプロジェクトを進めています。特に子育て世代と高齢者が交流することは子育て負担や心の健康、そして子どもの思い出作りにとって意義があると考えています。



氏名：矢動丸祐子
着任：2021年1月
出身：長崎県諫早市
前職：教育/子育て関連IT企業



▲本町の「守内商店」の再生・活用プロジェクト

活動テーマ・ミッション

「空き家・空き店舗対策、移住定住対策」をミッションに、地域の皆さんや小・中・高・大学生と共に「移住したくなるまちづくり」を目指しています。

高梁へは、2年前に知人の紹介で初めて訪れました。その時交流した地域の方のあたたかさや城下町のまち並みに惚れ、夫と神奈川県から移住しました。主な活動は、本町で約20年空き家だった「守内商店」の再生をはじめとした空き家・空き店舗の再生/活用の促進、小中高大学生と取り組む地域プロジェクトのサポート（教育環境の充実に繋がります）、移住相談対応などです。直近は、都市部に住む方にテレワーク（仕事）をしながら高梁での滞在を体験して頂く「備中吹屋ワーケーション体験会」を企画しました。テレワークをすることはもちろん、地域の方との交流も体験していただきました。今後も、高梁の「人のあたたかさ」と繋がりを大事にして「移住したくなるまちづくり」を目指し活動していきたいと思っています。



▲高校生と実施した空き家調査

「地域おこし協力隊」とは？

総務省の地方活性化制度の一つです。

人口減少や高齢化が進む地域において、地域外（都市部）からの移住者に積極的な地域活動（地域課題への取り組み・特産品開発・地域PR・観光産業振興・住民支援など）を委嘱しています。現在、全国で約6,000名が活動しています。



隊員の自己紹介と活動紹介ー2

現在、高梁市では4名の地域おこし協力隊員が活動しています。
隊員それぞれの活動についてご紹介します。



氏名：片山智恵
着任：2022年4月
出身：岡山県総社市
前職：高梁城南高校卒業



高校生の
時の
様子です

活動テーマ・ミッション

「廃棄野菜を活用した特産品開発・商品開発、農家さんのPR」をミッションとして活動しています。

総社市から高梁城南高校に通う中でポルカでしている高校生が運営するカフェ「ジョナカフェ」をきっかけに地域の方と深く関わることが増え、高梁市の人に魅力を感じ高梁市の地域おこし協力隊になりました。社会人経験ゼロの状態からのスタートなので、毎日が勉強で楽しく活動しています。主な活動内容は、高梁市の農家さんを知ってもらいたいという思いから始めた農家さん図鑑の作成、協力隊終了後にカフェをしたいと思っているのでそのための勉強や試作品を作成したりしています。最近は川上町のフルーツフラワーパークで開催されたまんまるマルシェに出店させていただきました。初めてのことで戸惑うこともありましたが、次につながるきっかけを見つけることが出来たのでよかったです。これからも次につながる、を意識しながら活動していきます。



▲マルシェ当日の様子



氏名：宮崎知也
着任：2022年9月
出身：岡山県岡山市
前職：介護職（介護福祉士）

【趣味】
珈琲の研究



▲認知症キャラバン・メイト活動も実施！

活動テーマ・ミッション

「ICTを活用した医療介護現場の労働環境改善」をテーマに活動しています。具体的には、事業所へのICT導入支援や市内の医療介護連携システムの普及活動などです。介護現場での経験を活かし、介護事業所が抱える課題を全力でサポートします！

私は大学を卒業後、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）で介護スタッフとして約5年間働いていました。その中で、介護現場の人材不足と業務過多の状況を目の当たりにし、持続可能な労働環境の必要性を感じていました。そんな中、職場でICTを導入することとなり、劇的に労働環境が改善されました。医療・介護現場へのICTの導入は一つの手段に過ぎませんが、私自身、前職場で体験したことから、人材不足という課題に対して大きな可能性を持っていると思います。この体験が少しでも役に立てばと思い、協力隊の活動を行なっています。具体的な活動としては、現在、市内の全介護事業所を訪問し、実態調査を実施しています。今後は介護事業所へのICT導入支援や医療介護の連携システムの普及、高梁市の介護人材バンクシステム作成など医療・介護現場の労働環境がより良いものとなり、少しでも現場で働く方々の力になれるよう活動していきます。

私は、縁あって高梁へ移住し成羽に新築することとなりました。土地が気に入って移住を決意したのですが、高梁の"人の良さ"に心から「来てよかった」と思っています。

皆様と一緒に高梁を医療・介護・福祉の面から盛り上げていきます！

「地域おこし協力隊」とは？

総務省の地方活性化制度の一つです。

人口減少や高齢化が進む地域において、地域外（都市部）からの移住者に積極的な地域活動（地域課題への取り組み・特産品開発・地域PR・観光産業振興・住民支援など）を委嘱しています。現在、全国で約6,000名が活動しています。

